令和５年度 上士幌町　まちの予算

令和５年度は予算総額114億5,708万円

「未来につなぐ　笑顔かがやく　元気まち上士幌」を目指して

■ゼロカーボン・デジタル化・ＳＤＧｓの推進に重点

一般会計及び３特別会計、並びに２公営企業会計の当初予算は、総額１１４億５７０８万円となりました。このうち、一般会計は91億２５３５万円で、同５．４％（４億６５０６万円）の増額となりました。

※水道事業特別会計及び公共下水道事業特別会計については、地方公営企業法に基づき、令和５年度より公営企業会計（簡易水道事業会計及び下水道事業会計）へ移行しました。

■一般会計《歳入》

主要な財源である地方交付税は、前年度予算との比較で８．６％増の33億４５４４万円、町税は６．２％増の８億８０６０万円を見込んでいます。

基金からの繰り入れは９．２％増の10億４０６６万円、町債は22．９％減の５億５５７８万円で、主に過疎対策事業債４億４２６０万円などとなっています。

■一般会計《歳出》

「第６期上士幌町総合計画」の６つの基本目標※を柱とする、持続可能なまちづくりの実現に向けた施策を推進するとともに、ゼロカーボンやデジタル化、ＳＤＧｓの推進に重点的に取り組むことを方針としています。詳しくは『令和５年度主なお金の使いみち』をご覧ください。

※６つの基本目標…「活力ある産業でにぎわいのあるまちづくり」「だれもが健康で活躍できるまちづくり」「だれにも優しく快適なまちづくり」「人と自然が調和したまちづくり」「だれもが学び続けられるまちづくり」「支え合いとおもいやりのまちづくり」

■基金について

町が管理する基金残高は、令和４年度の決算見込みで約91億８６６５万円となっています。令和５年度は10億４０６６万円を一般会計へ繰り入れ、ふるさと納税制度による指定寄付分として財政調整基金から２億４７９３万円、ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金から１億８２５９万円、ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金から８０９４万円を事業へ充当し活用します。

このほかに、基金と同様の取り扱いができるものとして、北海道市町村備荒資金組合超過納付金が約８億２０３９万円あります。

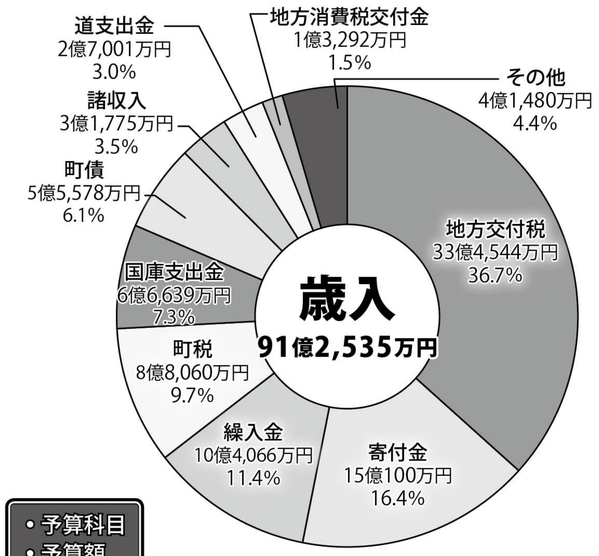
基金については、公共施設整備などの大型事業や地方債の償還金の財源を確保するため、適正に管理していく必要があります。

■北海道市町村備荒資金組合とは

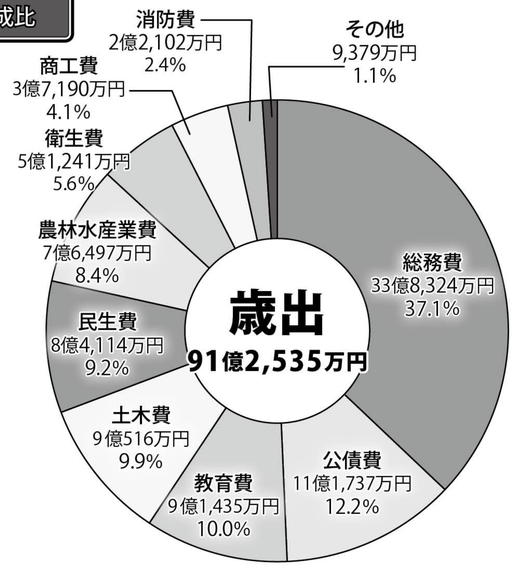
道内全ての市町村で組織する一部事務組合で、災害に備えるための資金の積み立て（普通納付金・超過納付金）および、その積立金の管理運用を行っています。運用益から必要経費を控除した残額は、構成市町村の積立金残高に応じて配分されます。

令和３年度の配分率（利率）は、普通納付金が１．００％、超過納付金が０．５５％となっています。

■ 一般会計予算の内訳



- 予算科目
- 予算額
- 構成比



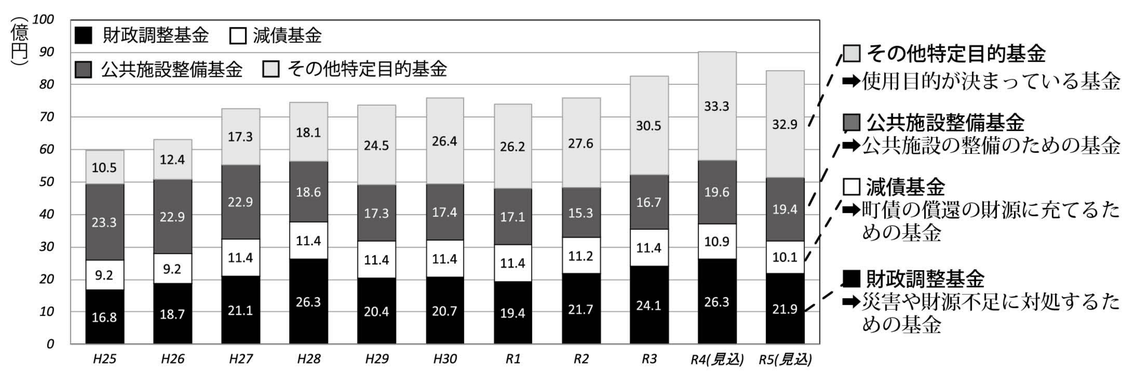
■ 主な歳入予算（前年度予算との対比）

○地方交付税	33億4,544万円（２億6,354万円増／8.6%増）
○寄付金	15億100万円（１億円増／7.1%増）
○繰入金	10億4,066万円（8,768万円増／9.2%増）
○町税	８億8,060万円（5,131万円増／6.2%増）
○国庫支出金	６億6,639万円（１億3,207万円増／24.7%増）

■ 主な歳出予算（前年度予算との対比）

○総務費	33億8,324万円（４億6,982万円増／16.1%増）
○公債費	11億1,737万円（１億3,508万円増／13.8%増）
○教育費	９億1,435万円（3,046万円減／3.2%減）
○土木費	９億516万円（9,111万円増／11.2%増）
○民生費	８億4,114万円（1,818万円減／2.1%減）
○農林水産業費	７億6,497万円（１億2,977万円減／14.5%減）
○衛生費	５億1,241万円（4,552万円増／9.7%増）
○商工費	３億7,190万円（4,947万円減／11.7%減）
○消防費	２億2,102万円（5,032万円減／18.5%減）

■ 一般会計基金現在高の推移



令和5年度

主なお金の使いみち

お問い合わせは、企画財政課財政担当（☎2-4290）まで

※表中の「新」は、令和５年度から新たに実施する新規事業

議会・行政・まちづくり

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金積立金	2億3,955万円	ふるさと納税寄付金の一部を子育て少子化対策の事業に充当するため、基金に積み立て活用する。
2		ふるさと納税推進事業	10億3,520万円	返礼品の充実、PRの強化。また、寄付者との繋がりを深め、交流人口の増加、企業版ふるさと納税の取り組みを進める。
3		役場庁舎改修事業	797万円	役場庁舎等の耐震改修に向けた基本設計を策定する。
4	新	コミュニティバス運行事業	1,717万円	高齢者等福祉バス市街地循環線を、町民や旅行者など誰もが乗車することができるコミュニティバスとして運行する。
5		生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業	5,161万円	住民コミュニティの醸成、生涯学習機会の充実、人材センターの運営、健康づくり等を通して、生涯活躍するまちの実現を目指す。
6		移住促進・二地域居住事業	3,371万円	生活体験用住宅の環境整備や首都圏プロモーション活動、生活体験モニター、町内事業所の人手不足対策等を図る。
7	新	再エネ地産地消促進奨励事業	430万円	太陽光発電で電力自家消費を行い、かつ、再エネ地産地消の電力会社と契約をしている家庭に10万円分の商品券を交付する。
8		SDGs普及・推進事業	54万円	町民がSDGsに積極的に行動できる環境づくりを進める。また、町民参画による第2期SDGs未来都市計画の策定を進める。
9	新	脱炭素先行地域づくり事業	1,286万円	脱炭素先行地域の取り組みを進めるため、町民参画による再エネ利用・省エネ意識を醸成するための取り組みを検討・実施する。
10	新	公共施設省エネルギー化促進事業	1,646万円	公共施設の省エネ化 ・再エネ化を図るための導入調査を実施する。
11	新	公共施設マイクログリッド構築事業	2,514万円	太陽光発電により役場庁舎を含む周辺の公共施設に電力を供給するため、マイクログリッド構築（設計）を進める。
12		環境基本計画策定事業	882万円	環境基本計画の改定を行う。
13	新	太陽光発電等再エネ設備導入支援事業	2億3,084万円	環境負荷が少ない太陽光発電設備、再エネ電力を円滑に活用するための定置型蓄電池等の導入費用に対して補助を実施する。
14		スマートタウン推進事業	3,050万円	高齢者にも優しいデジタル機器習熟の環境整備や、日常生活の支援及び介護予防等にICTを活用し、「スマートタウン」の推進を図る。
15	新	自動運転バス運行事業	1,920万円	域内交通の充実と自動運転レベル4の実現を目指し、自動運転バスの定期運行を実施する。また、定期運行以外での活用等の検討を行う。
16	新	かみしほろスマートパス推進事業	7,000万円	移動や物流など、町内のさまざまなサービスをつなぎ、地域内の多様なサービスを共通パスで利用できるシステムを作る。
17	新	かみしほろテレワーク推進事業	3,786万円	町内テレワーク施設の改修補助と、子育て世代のテレワーク受け入れ推進、ワーケーション実施企業への助成を行う。
18	新	官民データシェアリング事業	2,810万円	「施設予約」等のICT化において、インターネットクラウドサービスを活用し地域と行政が共用で利用できる仕組みの実装を目指す。

農業・林業

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		農業担い手育成助成事業	192万円	新規就農者及び農家子弟の独立する者で要件を満たした者に対し、月額8万円を最長3年間に限り助成する。
2		農地土壌炭素吸収源対策事業	165万円	メタン発酵消化液の施用と緑肥の作付けを行う畑作農業者に対し、緑肥種子代の一部を助成する。
3		圃場進入路整備支援事業	700万円	経営の規模拡大により大型化している農業機械に対応するため、圃場進入路整備費の一部を支援し、農業生産性の向上を図る。
4		バイオガスプラント管理運営事業	4,626万円	居辺地区集中バイオガスプラントの指定管理に係る経費。
5		家畜防疫対策事業	220万円	ワクチン接種を主とした家畜防疫と牛ウイルス性下痢発生時に検査費用を補助することで、畜産経営の安定化を支援する。
6		耕畜連携消化液利用促進事業	2,213万円	デントコーンの受委託栽培およびメタン発酵消化液の利用に助成することで、耕畜連携体制を強化し、循環的・持続的農業を推進する。
7	新	十勝ナイタイ和牛「極」プロジェクト事業	715万円	十勝ナイタイ和牛のさらなる高付加価値化を目指し、受精卵移植を活用した町内一貫生産の十勝ナイタイ和牛の候補牛の増産を図る。
8	新	牧場利用促進支援事業	1,688万円	ナイタイ高原牧場預託料の改定による激変緩和策として、利用実績に応じた助成を行い、ナイタイ高原牧場の利用促進を図る。
9		農業後継者奨学資金等支給事業	90万円	将来、本町において農業に従事しようとする青少年に対し、奨学金を支給。
10		東部居辺地区道営農地整備事業	4,355万円	農業用道路改良：L=141 m、区画整理：50.3ha
11	新	上士幌37号道営農道整備事業	2,763万円	調査測量：L=2,200 m
12		上士幌45号農道整備事業	4,489万円	農道改良舗装工事：L=160 m
13		上士幌東４線農道整備事業	5,000万円	農道改良工事：L=140 m
14		豊栄東１線農道整備事業	4,999万円	農道改良舗装工事：L=178 m
15		上士幌43号農道整備事業	4,423万円	農道改良舗装工事：L=133 m
16		林産業振興対策事業	547万円	経営合理化及び担い手対策を推進し、林業・木材産業事業者の経営安定と林業労働者の雇用安定を図る。
17		民有林造林促進事業	2,071万円	民有林において、森林の公益的機能の持続的な発揮のため、植栽・間伐等の適時適切な森林施業の実施に補助する。
18		町有林整備事業	6,564万円	町有林における造林、保育、主伐等の森林整備を行う。
19		上士幌町持続可能な山づくり事業	246万円	森林の荒廃林化防止や町有林の造林未済地解消に向けて、民有林の公有林化とその後の森林整備を行う。

保健・医療・福祉・介護

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		福祉灯油等支給事業	500万円	在宅で生活する低所得世帯に対し、採暖用灯油等購入費の一部を1万円の商品券で助成し、冬の生活を支援する。
2		三愛介護サービス事業推進経費	1,853万円	要支援者等に対して生活支援サービスを提供し、自立支援と生活の質の確保及びその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図る。
3		老人クラブ活動育成推進経費	185万円	老人クラブ連合会への活動費補助。
4		高齢者等福祉バス運行事業	952万円	高齢者等の移動手段として、デマンドでバスを運行。コミュニティバスの無料乗車対象者の高齢者等に「高齢者等無料パス」を交付する。
5		高齢者等在宅介護支援事業	396万円	在宅で暮らす要介護者本人の経済的負担と家族の介護負担感の軽減を図るため、介護用品の支給や家族介護慰労金支給する。
6		介護従事者定着及び介護労働環境改善支援事業	835万円	外国人介護人材の受け入れ支援と介護ロボット導入支援により、介護人材の確保と定着、介護労働環境改善等を図る。
7		重度心身障害者年金等支給事業	30万円	重度心身障がい者及び経済的に困難を伴う母子・父子家庭に年金を支給する。令和5年度から支給額を1万円から2万円に増加。
8		子ども医療給付事業	1,893万円	高校卒業時までの医療費自己負担分を無料化する。
9		地域医療振興対策事業	1億4,956万円	地域医療体制を維持するため、救急医療の確保等、行政と町内医療機関の連携により、一次医療圏としての機能の充実を図る。
10		予防接種経費	1,581万円	感染症予防を目的とした定期予防接種、インフルエンザ等の任意予防接種に加え、新たに帯状疱疹ワクチンの任意接種にも助成。
11		新型コロナ感染予防対策経費	278万円	備蓄品を揃えるほか、医療関係者や無症状者等へPCR検査費用を助成することで、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。
12	新	健康増進センター事務室等改修事業	2,211万円	オープンカウンターの設置、事務室の拡張、相談室の設置工事を行う。
13		妊婦健康診査事業	729万円	妊婦健診や新生児聴覚検査、多胎妊婦健診の機会を確保し、妊産婦健診の交通費等を助成することで経済的負担を軽減する。
14		こどもと子育ての相談センター（うみ）運営事業	204万円	妊娠から出産、子育て全般の相談窓口となり関係機関と連携して地域全体の子育て支援力を高める。
15		不妊治療費等助成事業	130万円	一般不妊治療と特定不妊治療及び不育症治療に対する費用の助成を行うことで、経済的負担の軽減を図る。
16	新	出産・子育て応援交付金事業	453万円	妊娠期と産後に面談による相談支援と各5万円の給付を行い、子育て家庭が安心して出産・子育てできる環境整備を図る。
17		地域リハビリテーション活動支援事業	87万円	リハビリテーション専門職（セラピスト）の居宅訪問や地域サロン等の住民活動の場面において、介護予防に関する技術的助言を行う。
18		介護予防普及啓発事業	385万円	介護予防に関する知識や実践方法について学ぶ機会（まる元運動教室など）を提供し、健康管理や介護予防活動の自立を支援する。

防犯・防災・消防

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		とかち広域消防事務組合経費	1億9,263万円	とかち広域消防事務組合運営に係る共通経費および常備消防費に係る個別経費。令和5年度は指揮広報車を更新する。
2		防災ガイドマップ作成事業	198万円	土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域および啓発事項の内容を見直し、防災ガイドマップとして町内の全世帯へ配布する。

商工・観光

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		農林商工連携促進事業	504万円	地域資源の付加価値を高めた新たな商品等の開発、既存商品のブランド化、新分野進出によるビジネス創出の取り組み等に補助する。
2		商店街活性化対策事業	1,600万円	中元大売り出しや歳末大売り出し、新春大売り出し等、商店街の活性化を図る事業への支援する。
3		北海道バルーンフェスティバル開催事業	2,060万円	北海道バルーンフェスティバル第50回記念大会の開催や、熱気球人材育成事業を行う組織委員会に対して補助する。
4		DMO推進事業	530万円	観光地域づくり推進組織(DMO)のマーケティング調査や旅行商品開発調査等の取り組みを支援する。

環境・衛生・労働

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		緑化推進事業	142万円	町民との協働により、国道273号沿いの植樹桝等の緑化活動の推進と拡大を図る。
2		老朽施設解体撤去促進事業	450万円	地域の防犯対策・防災対策と住環境の維持向上のため、老朽施設の解体撤去費用の一部を助成する。
3	新	生活系生ごみ減量化等推進事業	273万円	生ごみの減量化・再利用の推進を目的として、電動生ごみ処理機および生ごみたい肥化容器（コンポスター）購入費の一部を助成する。
北十勝２町環境衛生処理組合予算				
4		焼却施設炉本体等補修経費	3,586万円	燃焼設備の補修整備を行う。
5		一般廃棄物最終処分場拡張経費	2,932万円	一般廃棄物最終処分場の容量が限界を迎えるため、拡張をするための調査設計経費。

❊ 子育て支援・教育・文化

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		子育て推進経費	509万円	第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査および子どもの貧困対策に関する調査、ヤングケアラー実態調査を実施する。
2		こどもと子育ての相談センター（そら）運営事業	523万円	乳幼児期からの切れ目のない支援のため相談窓口を整備する。各関係機関のハブとなるシステムを導入し、効果的な対策の向上を図る。
3		北海道上士幌高等学校振興会助成事業	5,500万円	上士幌高等学校の存続に向けた取り組みを進める振興会への助成により、高校の魅力化を推進する。
4		まなびの広場開設事業	726万円	上士幌高等学校の「学習サポート」を充実させ、中高生の長期休業中の居場所づくりを通じて地元進学率の向上を目指す。
5	新	子どもの居場所づくり支援事業	15万円	地域での「子どもの居場所づくり（こども食堂や学習支援等）」を進める団体等に対して補助金を交付し、普及定着を図る。
6		かみしほろ学園推進事業	848万円	かみしほろ学園構想に基づく、幼小中高の一貫性の確立、課外活動の充実、体験活動の充実などを推進する。
7		認定こども園管理経費	5,366万円	認定こども園の施設等管理経費。令和5年度は保育システムを活用した魅力化の推進、ほろんの森におけるリスク回避対策の推進等を行う。
8		異文化交流推進事業	1,159万円	国際理解と異文化交流等を推進するため、認定こども園に外国語指導講師（ALT）および国際交流推進員を配置する。
9	新	特別支援教育就学奨励費事業	109万円	特別支援学級に在籍する児童に対し、給食費および学用品費等の経済的な援助を行う。（小学校68万円、中学校41万円）
10		小学校教育充実事業	4,518万円	学力・体力の向上と体験活動の充実のため、少人数学校教諭や専科担当教諭等を配置する。また、大学との授業研究連携を行う。
11	新	学校ICT環境整備事業	217万円	上士幌小学校の教育環境充実および特別支援学級への合理的配慮のため、年次的に電子黒板および実物投影機の整備を図る。
12		中学校教育充実事業	1,719万円	学力・体力の向上と体験活動の充実のため、特別支援教育担当教諭、学校教育推進支援教員を配置する。
13		芸術鑑賞会事業	204万円	町民が優れた芸術文化に触れる機会として、国内で活躍するアーティストを招へいする。
14		子どもの夢・未来応援事業	116万円	子どもたちの夢を育むため、幅広い分野から講師を招き、その優れた技術や考え方に触れる機会を提供する。
15		生涯学習フェスティバル開催事業	280万円	かみしほろ塾総合講座を、生涯学習フェスティバル実行委員会の補助事業として実施し、生涯活躍に向けた学習を推進する。
16		青少年のびのび育成事業	125万円	家庭的要因に関わらず、すべての青少年に対して放課後および土日祝日を含めた多種多様な体験活動の機会を提供する。
17		スポーツ教室及び講習会経費	202万円	スポーツに親しむ環境を整える。特に幼少期から運動に関わる機会の創出し、運動能力の向上を図るため、児童体操教室を実施する。

❊ 建築・土木・上下水道

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		地籍調査事業	4,770万円	地籍の明確化を図るため、地籍調査未実施地区における調査を実施する。
2	新	除雪車両車庫整備事業	400万円	除雪用の大型車両を増車したため、格納庫として3台分の増設を進める。令和6年度建設に向けて、令和5年度は設計を行う。
3	新	中央公園基本設計委託業務	330万円	庁舎改築に伴い隣接する中央公園も一体的に整備するため、基本設計を行う。
4	新	共和幹線道路整備事業	3,065万円	大雨時に道路隣接の敷地が冠水してしまうため、側溝整備を行い、流末を確保し被害を解消する。　整備延長L=700 m
5	新	居辺44号道路整備事業	4,860万円	大雨時に道路隣接の敷地が冠水してしまうため、側溝整備を行い、流末を確保し被害を解消する。　整備延長L=800 m
6		9区1号線道路整備事業	3,793万円	老朽化による舗装の破損等により通行に支障をきたしているため、再整備を行う。　L=180 m
7		1区北1号線道路整備事業	2,184万円	老朽化による舗装の破損等により通行に支障をきたしているため、再整備を行う。　L=133 m
8	新	橋梁長寿命化修繕計画策定業務	1,000万円	省令による5年に1回の近接目視による点検の2巡目が終了したため、上士幌町橋梁長寿命化修繕計画の再策定を行う。
9		定住促進賃貸住宅建設費助成事業	2,920万円	快適な住宅を確保して定住と移住を促進し、賃貸住宅の脱炭素化の推進を目的として、賃貸住宅の建設費用の一部を助成する。
10		定住住宅建設等促進奨励事業	260万円	快適な住宅を確保し移住の促進を図り、町内業者の建設による経済の活性化を目的として、住宅建設費用等の一部を助成する。
11		子育て住宅建設費等助成事業	3,200万円	子育てを行うための住宅を新築・購入する者に対し助成金等を交付し、町内での子育て支援を行う。
12	新	上士幌型脱炭素住宅建設等助成事業	750万円	地域環境と調和した住環境整備を図り、脱炭素社会の実現に資するため、上士幌型脱炭素住宅の建設費用の一部を助成する。
13	新	まちなか住宅建設事業	606万円	第3期まちなか住宅建設のため、2棟5戸の長屋を設計する。
14		水道建設改良費	1億5,113万円	西部浄水場無線テレメーター設備更新工事、東部地区配水管更新工事（200m）、上士幌1区管網整備工事（60m）等。
15		下水道施設整備費	3,321万円	下水道管理センター施設の耐震性能把握のため、耐震調査診断を行う。
16		下水道建設改良費	1,319万円	下水道管理センターの機械設備の改築工事を行う。

◆公営企業会計移行について

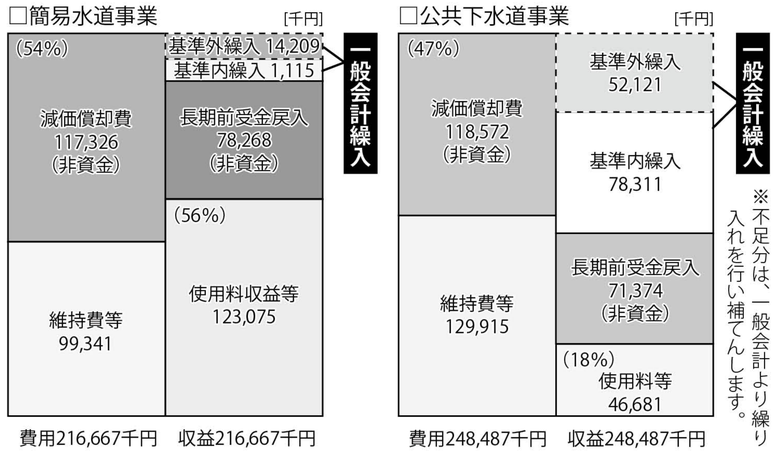
本町の水道事業および下水道事業は、経営成績や財政状況を正確に把握するため、国からの要請に基づき、これまでの特別会計（単式簿記）から地方公営企業法を適用し、複式簿記を採用した公営企業会計へ令和５年４月より移行することとなりました。

今後も能率的な経営のもと、より一層経営の効率化・健全化に努めてまいります。

また、地方公営企業法の適用は主に会計方式の変更となりますので、利用者の皆さまに直接の影響はありません。

◇令和５年度予算書の損益計算書からみる経営状況

損益計算書とは、事業年における収益と費用を表したものとなり、これにより経営状況がわかります。



ふるさと納税寄付金の使いみち

令和５年度も
幅広い分野に活用していきます

全国の皆さまから上士幌町へ「ふるさと納税」として寄せられたご寄付は、令和４年度は約９万５千件、金額にして14億円を超えるご厚志をいただきました（３月10日現在）。ご寄付により上士幌町を応援していただきました皆さまに、心より感謝を申し上げます。

上士幌町では、ふるさと納税制度を通じて消費が拡大し、地元企業や生産者による特産品開発が進み、新たな雇用も生まれています。お受けした寄付金は、さまざまな分野で活用しております。

上士幌町に寄せられたふるさと納税のご寄付がどのように活用されているのか、その内容についてお知らせいたします。

令和５年度　まちの予算

◆ 令和４年度のふるさと納税の寄付額（入金額ベース）

寄付別	令和５年３月10日現在		割　合
	件　数	金　額	
一般寄付	51,366件	８億　173万円	54.8%
指定寄付	43,335件	６億6,240万円	45.2%
合　計	**94,701件**	**14億6,413万円**	**100.0%**

▼ 指定寄付の使い道別内訳

指定使途	令和５年３月10日現在		割　合
	件　数	金　額	
子育て・教育	31,361件	４億6,790万円	70.6%
産業振興	5,445件	9,286万円	14.0%
脱炭素社会の推進	2,978件	4,672万円	7.1%
デジタル社会の推進	1,946件	2,915万円	4.4%
生涯活躍	1,605件	2,577万円	3.9%

◆ ふるさと納税の主な活用事業　※令和５年度事業への充当活用予定

❖ 子育て・教育　ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金活用事業

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	高校世代までの子ども医療費助成拡大事業	264万円	264万円	－	－	子ども医療費の無料化を高校世代まで拡大。
2	バルーンスタンプ子育て支援カード事業	613万円	613万円	－	－	「子育て支援カード」を発行し、満点で5,000円分の商品券と交換。
3	子育て住宅建設費等助成事業	3,200万円	3,200万円	－	－	子育て世代の負担軽減と定住・移住促進のため、住宅購入費用を助成。
4	自然環境教育推進事業	71万円	71万円	－	－	小中学生に豊かな自然環境と地域資源を活かした体験活動を推進。
5	まなびの広場開設事業	726万円	726万円	－	－	中高生の居場所づくりを通じて地元進学率の向上を目指す。
6	プログラミング教育推進事業	38万円	38万円	－	－	小中学校におけるプログラミング教育の充実のため、外部講師と事業研究連携。
7	認定こども園保育料無料化事業	4,164万円	3,709万円	－	455万円	保護者の負担軽減のため、認定こども園保育料を完全無料化。
8	認定こども園異文化交流推進事業	1,159万円	1,159万円	－	－	幼児期からの異文化交流を図るため、外国語講師による指導を行う。
9	認定こども園遠距離通園支援事業	341万円	341万円	－	－	認定こども園遠距離通園者の送迎費用を助成。
10	中学校キャリア教育推進事業	50万円	50万円	－	－	各分野の一流の講師を招き生徒と対談を行う「大人トーク」を実施。
11	学校教育充実事業	6,236万円	6,236万円	－	－	小中学校における教育の充実を図るため、町費による教職員の配置。
12	子どもの夢・未来応援事業	116万円	116万円	－	－	著名人を招へいし、その技術や考え方に子どもたちが直接触れる機会を提供。
13	かみしほろ学園推進事業	848万円	560万円	288万円	－	「上士幌町子ども教育ビジョン」の目指す子ども像の具現化・見える化を進める。
14	児童体操教室実施事業	151万円	151万円	－	－	体操を通じてやればできるという自己効力感の醸成や体力向上を目指す。
15	小中学生スキー普及事業	115万円	115万円	－	－	小中学生にぬかびら源泉郷スキー場のシーズン利用券を支給し、体力増進を図る。
16	学校給食における地場産品利用促進事業	150万円	150万円	－	－	学校給食において地場産の農畜産物の利用促進を図る。
子育て・教育　計			1億8,259万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 健康・安心・いきがい・生涯活躍　ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金活用事業

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業	5,161万円	2,270万円	504万円	2,387万円	地域包括ケアの充実など、生涯活躍のまちを実現するための委託料。
2	緊急通報システム設置事業	123万円	123万円	―	―	独居高齢者等を対象に緊急通報システムを設置し、生活不安の解消を図る。
3	三愛介護サービス事業推進経費	1,853万円	1,275万円	―	578万円	介護要支援者等に対する町独自の生活支援サービスを提供。
4	高齢者及び障害者除雪費助成事業	20万円	20万円	―	―	除雪費の助成と除雪ボランティアの経費負担により、高齢者世帯等の除雪を支援。
5	高齢者等福祉バス運行事業	952万円	952万円	―	―	高齢者や障がい者等の外出支援を目的としたバスの運行。
6	高齢者等在宅介護支援事業	396万円	396万円	―	―	介護者等に介護用品を支給し、介護に係る負担を軽減。
7	社会福祉施設等通所費助成事業	16万円	16万円	―	―	通所費の助成を行い、障がいのある人やその家族の負担軽減を図る。
8	健康診査経費	470万円	436万円	―	34万円	基本健診やがん検診等を実施し、生活習慣病等を早期発見・早期予防する。
9	女性がん検診普及啓発キャンペーン事業	334万円	334万円	―	―	子宮・乳がん検診の受診率を向上させ、早期発見・早期治療につなげる。
10	40歳スタート・脳ドック検診事業	125万円	125万円	―	―	40歳時の検診費用と、一般町民に対する脳ドック検診費用を助成。
11	生涯学習フェスティバル開催事業	280万円	140万円	―	140万円	地方創生、生涯活躍、健康長寿を大きな柱とするかみしほろ塾に基金を充当。
健康・安心・いきがい・生涯活躍　計			8,094万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 生涯活躍

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	介護保険サービス利用者負担軽減措置助成事業	79万円	20万円	―	59万円	介護保険サービスの利用者負担軽減のため、社会福祉法人へ助成。
2	老人クラブ活動育成推進経費	185万円	100万円	53万円	32万円	老人クラブの活動に対する支援。
3	高齢者等福祉サービス助成事業	2,576万円	800万円	1,776万円	―	高齢者等の福祉サービス事業への助成。
4	障害者地域生活支援事業	1,228万円	400万円	290万円	538万円	障がい者への地域生活の支援。
5	障害福祉サービス助成事業	315万円	200万円	115万円	―	障害福祉サービス事業所運営補助。
6	地域医療振興対策事業	1億4,956万円	800万円	8,796万円	5,360万円	医療機関への支援や医師確保対策。
7	心の健康づくり支援事業	13万円	6万円	1万円	6万円	自殺の予防啓発活動。
8	１歳６ヵ月児・３歳児健康診査事業	132万円	100万円	32万円	―	１歳６か月児・３歳児健康診査の実施。
9	妊婦健康診査事業	729万円	300万円	394万円	35万円	妊娠中の健康診査経費、交通費の助成。
10	未熟児養育医療費給付事業	60万円	10万円	―	50万円	未熟児に対する養育医療費の給付。
11	不妊治療費等助成事業	130万円	30万円	100万円	―	不妊治療費、不育症治療費の助成。
生涯活躍　計			5,132万円	※その他の未記載の事業を含みます		

令和５年度　まちの予算

❖ 産業振興

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	農業担い手育成助成事業	192万円	150万円	42万円	―	農業の新規参入者への支援。
2	圃場進入路整備支援事業	700万円	600万円	100万円	―	圃場進入路の改良と新設に係る費用の一部を助成。
3	酪農ヘルパー組合助成事業	250万円	200万円	50万円	―	酪農業の労働力確保対策。
4	耕畜連携消化液利用促進事業	2,213万円	1,800万円	413万円	―	デントコーンの受託および消化液利用に対し助成。
5	農業後継者対策推進経費	100万円	100万円	―	―	農業後継者確保対策として、農業後継者対策推進協議会を支援。
6	有害鳥獣駆除経費	673万円	600万円	45万円	28万円	有害鳥獣による農作物等への被害対策。
7	民有林造林促進事業	2,071万円	300万円	47万円	1,724万円	民有林整備保全のため補助。
8	町有林整備事業	6,564万円	500万円	9万円	6,055万円	林産振興を図るため、適切な森林施業を実施。
9	産業振興対策経費	2億2,545万円	1,500万円	6,432万円	1億4,613万円	新規創業等に対する支援等。
10	旧士幌線アーチ橋維持活用事業	129万円	100万円	29万円	―	旧国鉄士幌線アーチ橋梁群の維持管理。
11	熱気球管理経費	187万円	150万円	37万円	―	熱気球のＰＲおよび町所有の熱気球の管理。
12	観光協会助成経費	670万円	500万円	170万円	―	観光協会への支援。
13	観光施設維持管理経費	1,748万円	500万円	1,020万円	228万円	町内観光施設の維持管理。
14	観光管理経費	651万円	500万円	126万円	25万円	観光パンフレット作製や印刷に係る経費。
15	北海道バルーンフェスティバル開催事業	2,060万円	1,500万円	500万円	60万円	バルーンフェスティバルの開催、および人材育成。
産業振興　計			1億6,611万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 脱炭素社会の推進

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	再エネ地産地消促進奨励事業	430万円	430万円	―	―	地域脱炭素化の推進のため、一般住宅において太陽光発電による電力の自家消費を行い、かつ、再エネ地産地消の取り組みを行っている電力会社と電力契約をしている家庭に10万円分の商品券を交付する。
2	環境基本計画策定事業	882万円	850万円	32万円	―	環境基本計画の改定を行う。
脱炭素社会の推進　計			1,280万円			

❖ 自動運転バス導入促進

事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
自動運転バス運行事業	1,920万円	1,770万円	―	150万円	高齢者の免許返納や交通事業者の担い手不足に対応するため、自動運転バスの運行を実施する。